

Weekly Michael's News

<今週の聖句>

2018年5月21日発行 No.69

『突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。』
(使徒言行録 第2章2~4節)

<同じ課題を抱える学び舎だからこそ共に学び、繋がれる!! 六校交歓会 in 桃山学院中高!!>

先週土曜日は関西に位置する6つの聖公会関係学校(桃山・プール・松蔭・平安・八代・柳城)が共に集う「六校交歓会」が大阪の桃山学院中高を会場に行われました!! スポーツ大会や見学会、礼拝に夜の懇親会まで内容は盛り沢山で、集われた他校の教職員の皆様とも交流を深める事ができました。KIUからの参加が少なかったのが残念ですが、少子等様々な課題を抱えるこのような時代だからこそ、同じ聖公会関係学校同士、連帯を深めていきたいですね!!



晴天の下に輝く St.Andrew's cross



アンデレ記念チャペルで礼拝



大いに盛り上がった懇親会

<1年生一人ひとりの有意義な学びを心から願いつつ…。「春のチャペルウィーク」開催中!!>

先々週からチャペルでは、1年生を迎えて「春のチャペルウィーク」(キリスト教ガイダンス)を行っています。ここでは、KIUの大切な土台であるキリスト教や学院創立者である八代斌助先生の存在、また建学の精神を紹介しています。初めて入るチャペルに緊張が隠せない1年生ですが、お話が終わる頃にはKIUに対する知識や関心が増え、自分の学びに誇りを持つようになる…そんな内容を目指しています。例年に比べ受講後のコメントを懸命に記入してくれている姿が印象的で、本当に嬉しくなります。お昼の礼拝にも意欲的に来てくれる学生の姿も見られますし、この小さな取り組みがより大きな動きに繋がる事を願っています。(ˆoˆ)/”



学生の皆さん Chapelへようこそ!!



顔を上げて話を聞いてくれました



受講後コメントカード記入中…

＜先週のメッセージ＞

※ここでは実際に話されたお話の要約を掲載しています

5月14日（月） テーマ：「ミエナイチカラ」 野間 光顕（チャプレン）

先日、このチャペルは六甲アイランドで生まれ3歳からヴァイオリンを始めた吉本梨乃さんの奏でる魅惑の演奏で驚きと感動に包まれた。今年50周年を迎えたKIUは、その活動方針の一つとして「地元と強い連携を構築する」という目標を掲げており、その一環として今回の企画が行われ、実に盛況であった。この日、90歳に近い私の両親も出席していたが、帰りの車の中で「魂が洗われる様な演奏やったね」と感想を述べていた。「音楽」というのは目で見たり、手に取ったりする事はできないが、その「ミエナイチカラ」は耳や肌から聴く人の中に入り込んで、その魂を癒し、磨き、力づける…。その力の大きさと豊かさを改めて考えさせられた。

5月15日（火） テーマ：「あなたと私をつなぐもの」 石原 正彦（クリス教団-主務）

現在、中東の政治的情勢が不安定になっているが、地図を見るとあの辺りは本当に多くの文化や言語が入り乱れて存在している事が分かる。その中で紡がれた聖書は「言葉」を神とし、そこに希望の光や互いの命の源を見出してきた。私は先月、急な入院を余儀なくされたが、そこで抱えていた不安や恐れは、看護師さんの一言「分からない事や気になる事は、遠慮しないで何でも聞いて下さい」によって随分緩和された。一方、退院し慌しい通勤時間の中、「すみません」の一言がなく嫌な気持ちにさせられる事が少なくない。時代や文化を超えて語り伝えられている喜びである「言葉」を大切にしながら、共に歩みを進めて行きたい。

5月9日（水） テーマ：「観光とホスピタリティ」 北 邦弘（経済学部）

私は中学時代3年間をキリスト教学校で過ごした。毎日行われる礼拝で、目や耳にした讚美歌・聖書が時々心に浮かぶ。そんな私は30年以上旅行会社で勤務をしてきた。観光学の第一歩でよく言われるのが「サービスとホスピタリティの違い」だ。ラテン語の「サーバス」（奴隷や召使いの意味）から派生した「サービス」は、万人に対して行われるもので客と自分の間の縦の関係を指す。一方「ホスピタリティ」は、「ホテル」「ホスピタル」にも通じ、その人と視線を同じくして心からもてなす事を指す。現在は観光学を教える教員として相手が何を望んでいるかに思いを巡らせ、相手の存在に対する配慮や気遣いを大切にする心を伝えていきたい。

5月10日（木） テーマ：「…じゃない方を選ぶ」 藤倉 哲哉（経済学部）

以下の問いを考えて欲しい。「食べた事のあるものとないもの、どちらを選ぶか？」「行った事のある所とない所、どちらに旅行するか？」私は食べた事のないもの、行った事のない所を選ぶ。なぜなら新しいもの、知らない事に触れたり、知りたいと感じた時に知や、好奇心が始まるから。今日の聖書は「不安やマイナス思考になる自分に対し、心配しないで一歩ずつ前に進もう。あなたの努力に対して必ず神様が手を差し伸べて下さる」というメッセージを与えてくれる。「…じゃない方を選ぶ」とは知らない事、新しい事にチャレンジする事。皆さん、チャレンジしよう。

5月11日（金） テーマ：「スポーツとルール」 武内 孝祐（リハビリテーション学部）

現在、日大と関学大の対外定期戦で起こった悪質なタックルの問題が新聞やニュースで報じられている。大学スポーツに長く関わってきた自分として、今回の事案は「ありえない」の一言に尽きる。激しいコンタクトスポーツにおいて、あのようなプレーが必要になる場面もある、しかしそれはあくまで「ルールの中」での話だ。今回の事案はそのルールを大きく逸脱してしまっている。振り返ってみると、私たちの生活に目を移すと、学生には学生の、教員には教員の、そして社会全体の中において皆で守っていくものなど大小様々なルールが存在している。面倒に感じる時もあるが、そのルールを守る事で本当の自由が与えられるのだ。（文責：野間 光顕）